

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジルの主要経済指標悪化を受けて対ドルでレアル売りが優勢の展開。一時3.04台後半までレアル安が進行した。公表された3月経済活動指数は前月比1.07%減と予想対比大きく悪化。また、4月失業率も6.4%と2011年5月以来の高水準を記録するなどルセフ大統領が財政引き締めを進める中で景気後退入りの恐れが強まっていることが示された。昨年10月の再選以降、ルセフ政権は海外投資家の信頼回復のため歳出削減と増税を進めているが、財政緊縮は景気後退の度合いを高め、むしろ大統領の支持率を一層低下させる可能性があるとして従前から指摘されていた。なお、米国サイドでも引き続き軟調な経済指標が目立っている。新規失業保険申請件数が27.4万件を記録した他、4月中古住宅販売件数も504万戸と市場予想を下振れた。低調な経済指標に加え、FOMC議事録が6月利上げの可能性を後退させる内容となったことから、マーケットにおけるドル買い需要も低迷しており、レアル相場は足許で方向感のない膠着状態が続いている。

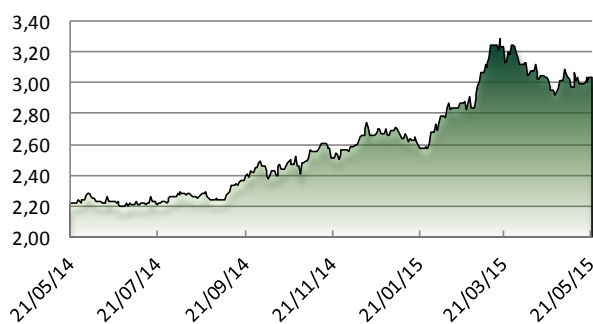
ルセフ大統領は昨日、辞任圧力が高まっているLevy財務相について、「全面的に信頼している」と擁護し、職務を今後も継続すると明言した。ブラジルはLevy財務相主導で財政緊縮策を推進しているが、一部議員からは、「ブラジル経済の一段の悪化につながりかねない」と反発の声が上がっている。しかし、ルセフ大統領は記者団に対して、「財政健全化は必要」と改めて強調した上で、「我々が前進するには、財政の均衡が不可欠である」との考えを示した。

マーケットデータ

Indicator	Unit	5月20日	5月21日	前日比	4月21日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	40,41	39,83	-0,58	39,45	+0,38
USD / BRL Spot	BRL	3,0026	3,0382	+0,0356	3,0325	+0,0057
USD / JPY Spot	JPY	121,35	121,04	-0,31	119,67	+1,37
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	54.901	55.112	+211	53.761	+1.351
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	225,0	221,9	-3,1	233,0	-11,1
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,42	12,36	-0,06	12,58	-0,22
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,76	13,66	-0,10	13,51	+0,15
3 Months US Dollar Libor	%	0,284	0,284	+0,000	0,277	+0,007
CRB Index (国際商品指数)	Index	226,4	228,2	+1,8	221,0	+7,2

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

